

令和 6 年 度

小・中学校における 租税教育実践報告

仙台南地区租税教育推進協議会

発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長

亘理町教育委員会

教育長 奥 野 光 正



令和6年度「仙台南地区租税教育推進協議会」の主な事業が、亘理町中央公民館にて行われた「租税教育に関する研究発表会」を最後に、滞りなく終了したことにつきまして、関係の皆様への御理解と御協力に感謝申し上げます。

6月の定期総会にて、昨年度の事業報告が行われ、本事業の特色であります「租税教室」の継続のために、租税教室講師養成研修会を実施したり、地域の特色を踏まえた副教材を作成したりするなどの陰の支えがあることにつきまして、関係されている皆様に感謝いたしました。定期総会において、例年通りの事業計画が承認され、児童生徒に対する租税教育の推進を図って参りました。

8月の座談会は、令和5年度の研究発表担当教諭から話題提供をいただき、租税教育の充実のための成果と課題について、参加者の皆様と意見交換が行われました。特に、令和6年度と令和7年度の研究発表校担当教諭にとっては、租税教育実践の様子や推進のための助言をいただける貴重な機会だと感じました。

11月14日に行われた令和6年度の研究発表会は、名取市立愛島小学校、岩沼市立岩沼南小学校、山元町立山下第一小学校及び亘理町立高屋小学校の実践で、4校全て小学校でした。児童が税についての関心を高め、必要性を理解させることを目指した主題を掲げ、実践を通して学びを深めていました。学びの過程に「単元内自由進度学習」を取り入れたり、調べたことを「p4c（探究の対話）」を用いて深めたりした取組が紹介されました。また、学んだことを新聞にまとめたり、プレゼンテーションを作成したりして発表した取組もありました。これらの学習活動を通して、学習前と学習後の児童アンケート結果から、租税についての児童の理解が深まったことが明確になりました。各校の児童の実態に応じた指導工夫を講じた、すばらしい実践発表をしていただいた4名の先生に感謝申し上げます。

定期総会にて、「小・中学生の租税教育用副教材の電子化（案）」の説明がありました。デジタル化社会の推進やGIGAスクール構想の進展や学校の通信環境が整備されてきたことを踏まえての対応となります。副教材の作成については、各地域の特色を取り入れたものとなっております。引き続き、関係機関等の皆様には、租税教育充実のために副教材作成への御協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、これまで本報告書発刊に御尽力いただきました仙台南税務署の皆様、税務関係の皆様や学校関係の皆様の御協力に心より感謝申し上げ、挨拶といたします。

令和7年3月

目 次

1	仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ	1
2	令和6年度 租税教育推進協議会の主な活動状況	3
3	令和6年度 租税教育研究発表要項（順不同・敬称略）	
(1)	租税についての関心を高め、税金の必要性を理解することのできる児童の育成	13
	～税に関する単元の、身近な事例と関連させた学習を通して～	
	名取市立 愛島小学校 教諭 三 品 綾 子	
(2)	児童が税について主体的に学ぶ学習を目指して	19
	～第6学年「わたしたちの生活と政治」の学習を通して～	
	岩沼市立 岩沼南小学校 教諭 石 井 歩	
(3)	児童が租税の意義や役割を理解するための指導の工夫	35
	～地域資源について調べる活動を通して～	
	亘理町立 高屋小学校 教諭 石 川 光 華	
(4)	税金への関心を高めるための中学年への指導の工夫	41
	～第4学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～	
	山元町立 山下第一小学校 教諭 森 山 壱 成	
(参考資料)	租税教育実践発表一覧	47
	令和6年度 仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿	55

1 仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ

(1) 設 立

この会は、仙台南地区の税務及び教育関係者が協力して、児童・生徒並びに社会人に対する租税教育を推進し、納税道義の高揚に必要な事項について協議し、また、連絡協調を図ることを目的としている。

当協議会は、昭和62年3月25日の設立準備委員会を経て、次の機関構成をもって、昭和62年5月25日に設立されている。

(2) 構成機関

構 成 機 関 名	
教 育 関 係 機 関	税 務 関 係 機 関
宮城県教育庁仙台教育事務所 名取市教育委員会 岩沼市教育委員会 亘理町教育委員会 山元町教育委員会 各地区校長会	仙台南税務関係団体協議会 宮城県仙台南県税事務所 名取市役所 岩沼市役所 亘理町役場 山元町役場 仙台南税務署

(3) 事業内容

- イ 租税教育の計画策定
- ロ 児童・生徒の租税教育に関する座談会及び研究発表会の開催
- ハ 租税教室の開催
- ニ 税に関する作品募集の支援
- ホ 小・中学校における租税教育実践報告の作成
- ヘ 租税教育用教材の提供
- ト 税を考える週間行事への協力

(4) 歴代会長

初代	昭和62年 5 月 25 日	～	平成元年 6 月 13 日				
			岩沼市教育委員会	教育長	遠 藤	幸四郎	
2代	平成元年 6 月 13 日	～	平成 5 年 6 月 1 日				
			名取市教育委員会	教育長	佐々木	健	
3代	平成 5 年 6 月 1 日	～	平成 8 年 10 月 15 日				
			山元町教育委員会	教育長	菅 野	丈 治	
4代	平成 8 年 10 月 15 日	～	平成 13 年 6 月 8 日				
			亶理町教育委員会	教育長	三 品	堯 明	
5代	平成 13 年 6 月 8 日	～	平成 14 年 12 月 31 日				
			岩沼市教育委員会	教育長	砂 金	勲	
6代	平成 15 年 1 月 1 日	～	平成 15 年 6 月 10 日				
			岩沼市教育委員会	教育長	影 山	一 郎	
7代	平成 15 年 6 月 10 日	～	平成 16 年 9 月 30 日				
			名取市教育委員会	教育長	太 田	洋 一	
8代	平成 16 年 10 月 1 日	～	平成 17 年 6 月 2 日				
			名取市教育委員会	教育長	阿 部	哲 男	
9代	平成 17 年 6 月 2 日	～	平成 19 年 3 月 31 日				
			山元町教育委員会	教育長	佐々木	陽一郎	
10代	平成 19 年 5 月 10 日	～	平成 19 年 6 月 1 日				
			山元町教育委員会	教育長	横 山	俊 二	
11代	平成 19 年 6 月 1 日	～	平成 21 年 6 月 1 日				
			亶理町教育委員会	教育長	鈴 木	光 範	
12代	平成 21 年 6 月 1 日	～	平成 23 年 6 月 24 日				
			岩沼市教育委員会	教育長	影 山	一 郎	
13代	平成 23 年 6 月 24 日	～	平成 25 年 6 月 20 日				
			名取市教育委員会	教育長	丸 山	春 夫	
14代	平成 25 年 6 月 20 日	～	平成 27 年 6 月 26 日				
			山元町教育委員会	教育長	森	憲 一	
15代	平成 27 年 6 月 26 日	～	平成 29 年 6 月 28 日				
			亶理町教育委員会	教育長	岩 城	敏 夫	
16代	平成 29 年 6 月 28 日	～	令和元年 7 月 2 日				
			岩沼市教育委員会	教育長	百 井	崇	
17代	令和元年 7 月 2 日	～	令和 3 年 7 月 16 日				
			名取市教育委員会	教育長	瀧 澤	信 雄	
18代	令和 3 年 7 月 16 日	～	令和 5 年 6 月 23 日				
			山元町教育委員会	教育長	菊 池	卓 郎	
19代	令和 5 年 6 月 23 日	～					
			亶理町教育委員会	教育長	奥 野	光 正	

2 令和6年度 租税教育推進協議会の主な活動状況

○ 児童・生徒の租税教育に関する座談会

(内容) 研究発表会に向け、児童及び生徒の租税教育に直接携わっている教員同士の意見交換を分科会方式で実施した。

年 月 日	令和6年8月20日(火)
場 所	亶理町役場
出 席 者	仙台南地区租税教育推進協議会役員 教育関係者・関係民間団体・税務関係官庁 令和5年度、令和6年度、令和7年度研究発表(予定)校

○ 児童・生徒の租税教育に関する研究発表会

(内容) 研究発表指定校の教諭が、租税教育に関する研究内容を発表した。

年 月 日	令和6年11月14日(木)			
場 所	亶理町中央公民館			
発 表 者	名取市立 愛島小学校	教諭	三品 綾子	
	岩沼市立 岩沼南小学校	教諭	石井 歩	
	亶理町立 高屋小学校	教諭	石川 光華	
	山元町立 山下第一小学校	教諭	森山 壱成	

児童・生徒の租税教育に関する座談会

開催日：令和6年8月20日（火）
開催場所：亘理町役場



会長挨拶：亘理町教育委員会
教育長 奥野 光正



顧問挨拶：仙台南税務署
署長 藤原 守



第一分科会



第二分科会



第三分科会



副会長挨拶：公益社団法人仙台南法人会
会長 佐藤 和也

児童・生徒の租税教育に関する研究発表会

開催日：令和6年11月14日(木)
開催場所：亘理町中央公民館



会長挨拶:亘理町教育委員会
教育長 奥野 光正



祝辞:亘理町
副町長 千葉 文彦



発表:名取市立 愛島小学校
教諭 三品 綾子



発表:名取市立 愛島小学校
教諭 三品 綾子



発表:岩沼市立 岩沼南小学校
教諭 石井 歩



発表:岩沼市立 岩沼南小学校
教諭 石井 歩



発表:亘理町立 高屋小学校
教諭 石川 光華



発表:亘理町立 高屋小学校
教諭 石川 光華



発表:山元町立 山下第一小学校
教諭 森山 壱成



発表:山元町立 山下第一小学校
教諭 森山 壱成



講評:宮城県仙台教育事務所指導班
次長(指導主事) 小野 美智子



感謝状贈呈



記念品贈呈:仙台南間税会
(左から4人目が仙台南間税会副会長 鈴木隆)

3 令和6年度 租税教育研究発表要項

令和6年度 租税教育に関する研究発表者

開催日 令和6年11月14日(木)
開催場所 亘理町中央公民館



名取市立 愛島小学校

教諭 三品 綾子

租税についての関心を高め、税金の必要性を理解することのできる児童の育成
～税に関する単元の、身近な事例と関連させた学習を通して～



岩沼市立 岩沼南小学校

教諭 石井 歩

児童が税について主体的に学ぶ学習を目指して
～第6学年「わたしたちの生活と政治」の学習を通して～



亘理町立 高屋小学校

教諭 石川 光華

児童が租税の意義や役割を理解するための指導の工夫
～地域資源について調べる活動を通して～



山元町立 山下第一小学校

教諭 森山 壱成

税金への関心を高めるための中学年への指導の工夫
～第4学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～

1 研究主題

租税についての関心を高め、税金の必要性を理解することのできる児童の育成
～税に関する単元の、身近な事例と関連させた学習を通して～

2 主題設定の理由

税に関する学習は、小学校学習指導要領社会編では第 6 学年の指導内容として示されている。「税金」という言葉は日常的に耳にするものの、どのような仕組みなのか、どのように集められているか、どのように使われているか理解している児童は少ない。これから大人になって納税の義務を負っていく児童にとって、租税に関する関心を高め、その必要性を理解することは、社会生活を営む上で必要不可欠と考える。

単元の学習を身近な事例と関連させながら進めることで、税の役割や必要性を実感し、理解することができると考え、主題を設定した。

3 研究目標

租税教育の実践を通して、児童が租税に関する関心を高め、税金が自分たち国民の生活に必要であることを理解できる授業の在り方を明らかにする。

4 研究の方法

- (1) 社会科の単元「わたしたちの暮らしと日本国憲法」「国の政治のしくみと選挙」「子育て支援の願いを実現する政治」における学習を通して、租税に関して学び、税についての関心を高める。
- (2) 単元のまとめとして新聞づくりに取り組ませ、身近なものとして捉えられているか分析する。
- (3) 単元テストの記述問題から、税の必要性についての理解の様子を分析する。
- (4) 掲示した新聞を互いに読み合わせ、成果の共有を図る。

5 研究計画

社会科の単元授業を通して主題に迫る。(6 年 1 組 33 名)

令和 5 年 4 月	単元授業「わたしたちの暮らしと日本国憲法」	6 時間	うち 1 時間
5 月	単元授業「国の政治のしくみと選挙」	5 時間	うち 1 時間
5 月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	4 時間	
6 月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	3 時間	うち 1 時間
	発展学習「わたしたちの暮らしと税金」	1 時間	
	新聞づくり	2 時間	
	単元テスト	1 時間	
	新聞の掲示	次の単元新聞まで	

社会科の単元授業を通して主題に迫る。(自閉症・情緒障害学級 6 学年 3 名)

令和 6 年 4 月	単元授業「わたしたちの暮らしと日本国憲法」	6 時間	うち 1 時間
5 月	単元授業「国の政治のしくみと選挙」	5 時間	うち 1 時間
5 月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	4 時間	
6 月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	3 時間	うち 1 時間
	発展学習「わたしたちの暮らしと税金」	1 時間	
	単元テスト	1 時間	

6 研究の概要

(1) 指導計画

月	学習内容とまとめ	評価規準
4	わたしたちの暮らしと日本国憲法 ③暮らしの中の基本的人権の尊重 日本国憲法の基本的人権の尊重に基づいて行われている身近な取り組みには、国民の生まれながらの権利を保障するものがある。	知 基本的人権の尊重の考え方が市や国の政治に反映されていること、国民の権利、国民の三大義務について理解する。
5 (実践1)	国の政治のしくみと選挙 ②選挙のしくみと税金の働き 国会での話し合いは、国民の代表者として選挙で選ばれた国会議員によって進められる。国の税金の集められ方や使われ方は、国民の代表である国会議員によって決められる。	知 国会の役割について、教科書や資料集で調べ、選挙のしくみや財源の配分、国会や地方議会などの制度について理解する。
5 (実践2)	子育て支援の願いを実現する政治 ⑤児童センターをつくるための費用 人々の願いを実現するための費用には、市民や会社などから集められた税金や、国や県からの補助金などが使われる。税金は私たちの生活や社会を支える大切なものである。	知 児童センターの建設費用には税金や補助金が使われていることを理解する。
6	わたしたちの暮らしと税金（発展） ⑥税金がなかったらどうなるのかを調べる。国税庁HPより動画視聴。	知 児童センター以外にも、身近なところで税金が使われていることを理解する。
6	子育て支援の願いを実現する政治 ⑦⑧学習して分かったことを新聞にまとめる。	思判表 国や地方公共団体の政治の取り組みと税金および国民生活に関連付けて政治の動きを表現している。 知 市の政治と税金は、わたしたちの生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解する。
7	子育て支援の願いを実現する政治 単元テスト	

(2) 授業実践の概要
(実践1)

段階	学習内容 主な発問(・) 児童の反応(○)	指導上の留意点
導入	1 前時までの学習を振り返る。 ・税金とはどのようなものでしたか。 ○消費税，みんなのために使う，大人が払う，教科書をもらえる ・では，どのようなしくみで，使っているのですか。 ○国会，政治家，わからない ・その政治家とはどうやって決めている人たちでしょう。 ○選挙	
展開	2 課題をつかむ。 選挙のしくみや税金の働きについて調べよう。 3 選挙のしくみを知る。 A…お年寄りの人口が増えているので医療に関する公共的なサービスを維持するために，消費税を増税します。 B…国民に負担のかかる増税は，するべきではありません。まずは，現在の税金の使われ方を見直すことが大切です。 ・政治に携わる人を選ぶのは18歳以上の国民です。これから皆さんに18歳以上になったつもりで，選挙をしてもらいます。どちらの党に投票しますか。 ○A 2名，B 29名（欠席2名） 4 教科書 P.27 から，税金の集められ方と使われ方を知る。 ・税金は，選挙で選ぶポイントの1つになりますね。教科書の資料3から税金の集められ方と使われ方を調べましょう。 ○税金って国だけじゃないんだ。 ○消費税しか知らなかった。 ○住んでいるだけで税金取られるの？ ○医療にも税金が使われているんだね。 ○学校教育って教科書だけじゃないの？	・選挙権を持つ18歳以上の国民は誰でも自分の考えに近い候補者に投票できること，投票率が下がっていることを資料から読み取る。 ・消費税以外に様々な税金が集められていること，国や都道府県，市町村による公共サービスや公共施設にかかる費用は税金によってまかなわれていることを知らせる。
まとめ	5 学習したことをまとめる。 国会での話し合いは，国民の代表者として選挙で選ばれた国会議員によって決められる。 国の税金の集められ方や使われ方は，国民の代表である国会議員によって決められる。	・投票するということは，税金をどのように納め，どのように使うかを自分たちで決めることになることに気付かせる。

(実践2)

段階	学習内容 主な発問(・) 児童の反応(○)	指導上の留意点
導入	1 児童センター（あすばる）の建設費や運営費について知る。 ・「あすばる」の建設費はいくらぐらいだと思いますか。 ○十億円，五億円，三兆円，分からない ・約1億4千万円だそうです。 ○高い，へえ，意外と安い，高いのかどうか分からない。 ・運営費としては，年間2千万円かかるそうです。利用者は基本的には無料ですが，かかる費用はどこから出ているのでしょうか。	・1億4千万円がどのくらいの金額か，身近なことを例に計算して考えさせる。 時給800円でアルバイトすると，1日8時間，月間20日間で12万8千円。90年働いても1億4千万円にならない。
展開	2 課題をつかむ。 あすばるをつくる費用は，どこから出ているのだろうか。 ○市役所，国 ○愛島では，おやつ代は親が払っている。 ○職員の給料は？ ・教科書の資料を見て考えてみましょう。 ○税金なんだ。 ○補助金って何？ ○そうなんだ。 ○なんでも税金が使われているんだね。 ○だから義務なの？ ○利用料は無料だけど，ちゃんと払っているのと同じことだね。	・教科書 P.42 の資料や教材文から，あすばるの建設費や運営費に税金が使われていることを知る。 ・地方交付金などの補助金も国や県に納められた税金であることを知らせる。 ・教科書 P.43 の資料から，児童センターだけでなく，様々な公共事業に税金が使われていることに気付かせる。
まとめ	3 学習したことをまとめる。 人々の願いを実現するための費用には，市民や会社などから集められた税金が使われる。税金は，わたしたちの生活や社会を支える大切なものである。	

R6年度はこの後，租税教室を実施した。参加できたのは1名だった。参加できなかった児童のために，後日学級で再度国税庁HPの動画を視聴した際には，3名とも内容に反応して「どういうこと？」「ひどい」「そうなんだ」等とつぶやきながら視聴していた。

(3) 児童のまとめ (R5) から

- ① あなたのくらしで、税金がなかったら困るものの例を1つ書きましょう。
(テストの記述問題 1名欠席, 1名記述なし)
- ・道路や学校、公園が壊れても直せなくなる 11名
 - ・学校がなくなる (▲) 5名
 - ・教科書や給食を買わなければいけなくなる 4名
 - ・道路を通るためにお金を払うことになる 3名
 - ・ゴミが処分されないから汚い町になる 3名
 - ・学校を建てられないし、教科書もなくなる (▲) 1名
 - ・公園で遊べなくなる 1名
 - ・火事になっても自分でお金を払わなければいけない 1名
 - ・犯罪が起きても警察が動かなくなる 1名
 - ・施設で働く人の給料が少なくなる (▲) 1名
- (※ ▲は極端な解釈と思われる回答)
- ② 児童の書いた新聞から(抜粋)
- ・税金があることで子供たちが安心して過ごすことができることが分かった。
 - ・僕の住んでいる名取市がこんなに便利なのは、市役所、市議会、国、県、税金のおかげなんだと思った。
 - ・私たちが払っている税金は、国や市で役立っていると分かった。また、施設を1つつくるだけでも、国や市や県が協力しているんだと思った。
 - ・私も児童館を利用したことがあるが、建設するまでにたくさんの人が関わっていることなどを考えたことがなかった。名取についても調べてみたい。
 - ・児童センターができるまで、いろいろな人たちが協力して、話し合って建設されていることが分かった。

7 成果と課題

(1) 成果

まとめの記述から、事前よりも税金について理解できている児童が増えていることが分かる。学校や児童センターだけでなく、私たちの生活の多くのことに税金が使われていることを驚くと共に、税金が、国民生活の向上と安定のために重要な役割を果たしていることを感じることもできた。

国税庁 HP 掲載の動画を視聴したことで、より生活と結び付けて捉えることができた児童が多かった。特別支援学級の児童も内容を覚えていて、テストの時に「(税金がなくなったら困るものの例を書く問題に) 信号機が使えなくなる。」と答えることができた。一方で、学校がなくなってしまう、道路全てに通行料が必要であるというように極端に捉えてしまう児童もいた。

R5年度の実践を基に、R6年度の学習を進めたが、前年度の児童が使った言葉を説明に入れることで、特別支援学級の児童が納得して理解につながるがあった。

(2) 課題

単元学習を中心に進めたが、名取市など身近なところでは、税金の使い道や決め方はどうなっているのか等、児童が事後に持った疑問や学習に対する関心を発展的に扱う調べ学習はできなかった。児童の意欲を喚起し、じっくり調べていくような時数の配当を検討する必要があると感じた。

理解が十分ではない児童に対して、自主学習として継続的に復習に取り組めるような学習課題の提示、調べる手立ての提示などを検討していきたい。

児童が税について主体的に学ぶ 学習を目指して

第6学年「わたしたちの生活と政治」
の学習を通して

教諭 石井 歩



1. 学習指導要領上の位置づけ
2. 実践について
3. 学習中の児童の実際
4. 振り返り

学習指導要領上の位置づけ

学習指導要領上の扱い

・第6学年

社会科 内容(2)

内容(2)の取り扱い

イ …租税の役割などについても扱うようにすること。

エ …納税の義務などを取り上げること。

租税の役割

租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、それらは主に国民によって納められた税金であることなどを理解できるようにする。その際、限られた財源をどのように配分するのかを決める責任は、国会や地方議会などの制度を通して、国民や住民にあることに触れるようにする。

実践について

実践単元

①国の政治のしくみ
と選挙

②子育て支援の
願いを実現する
政治

実践のねらい

- ・児童が、学ぶ順序や方法を選びながら学習ができるようにすることで、税金について自ら疑問を持ち、その用途や仕組みについての知識を主体的に獲得できるようにする。

ねらいに迫る手立て

- ・「疑問を持つ → 市役所の働き → 市議会の働き → 税金の働き」という単元構成を、単元内自由進度学習の形で行う。

※国政の学習も、国会・内閣・裁判所の働きを同様の方法で行う。

検証方法

- ・児童の学習感想や、税についてのアンケートを取り、その記述から、児童が学んだことを確かめる。

学習中の児童の実際

疑問をもつ

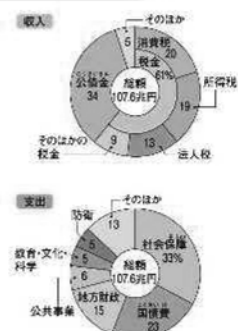


図1 日本の国の予算(2022年) 税金のみで支出をまかなえず、収入の約3分の1を公債金(借金)で補っている現状が問題になっています。



図3 さいたま市の収入と支出(2023年度) さいたま市では市の予算を、福祉や教育、安全なまちづくりなどに対して使っています。

- ・税金って何に使っているの？
- ・国の借金を返すには、税金を増やしたら良いんじゃないの？
- ・税金が減れば、お金を使わなくても済むようにならないの？



市民の願い



児童館完成

児童館



だれに、どう願いが伝わる？
お金はどこから？ 上限は？
会議はだれが？
子どもの願いでもOK？
なぜ自分のお金なのに、
みんなのためのもの？
だれに言えばいい？

調べる

- 教科書、インターネット、NHK for Schoolの映像資料などから、児童それぞれが選択して活用。
- 友達と一緒に、一人で、先生に質問など、学習の方法も選択して良い。
- 調べてわかったことをロイロノートのテキストにまとめ、提出→蓄積

- インターネットから情報収集し、分かりやすくまとめる。



まとめたもの

市役所の仕事
教育委員会↓

- 学校
- 図書館
- カルチャーセンターや体育館の管理

[市役所について]

市役所では、議会で決められたことや市民の要望にあうものを国の法律に基づき市議会や市民からの意見を通し実行する場所です。

その他にも引っ越しや結婚、子どもが生まれたときなど、市民の暮らしにかかわるさまざまな届け出を受け付けて管理をしています。(健康保険・税関係の手続き、インフラ整備、市営施設の運営などを)

<国会とは>

簡単に言うと、国民の代表の集まり。
代表者たちは生活に関わることや外国との関係など、
国をより良くするために日本の決まりを作っている。

国会の仕事

- ・決まりを作る
- ・建設物の予算の話し合い
- ・「これはおかしい」等を議論しあう

国会と内閣の仕事
基本の3問ステップ



←国会と内閣の関係

国会とは

国で唯一の立法（法律を作る）機関。国会における話し合いの参加者が、選挙で選ばれた国会議員。

国会には、衆議院と参議院の二つがあり、それぞれで私たち国民の生活に関わる予算や法律について話し合う。



国会の働き

2つの議員で国の政治の方向性を多数決で決めること。

- ・法律の制定
- ・内閣総理大臣（首相）の指名
- ・予算の議決
- ・条約の承認
- ・弾劾裁判所の設置（裁判官を辞めさせる）
- ・憲法改正の発議

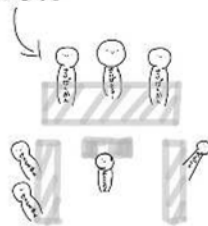
裁判所

①裁判所の仕事

犯罪を犯した疑いのある人を有罪か無罪か判断するところ

②裁判所にはどんな人がいる

裁判をする時には、裁判長・裁判官・裁判所書記・裁判所速記官・弁護士・検察官・被告人がいます。



裁判所とは

殺人罪などの法的な紛争を解決したり、犯罪を犯した疑いがある人が有罪か無罪かを判断したりすることにより、国民の権利を守り、国民生活の平和と安全を確保することを目的とする。無罪を主張する人とかかるやん。それが内閣とかが決める仕事や。

裁判の仕組み



裁判の流れ

1. 検察官が事実関係や法的問題などの意見を述べる（起訴）
2. 検察官が被告人に尋ねるべきと答える用を述べる（求刑）
3. 被告人が事実関係や法的問題などの意見を述べる（弁論）
4. 被告人が意見を述べる（最終陳述）

内閣とは？

(●●●●●)の



内閣は、政治をおこなう機関です。
「政治をおこなう」と書いて「行政」と呼び、内閣は行政権をもつよ。

内閣とは何ですか？

内閣は、国会で決められた法律や予算に基づいて、国の仕事を進めていく組織。内閣総理大臣と国務大臣がメンバーです。内閣のメンバーが集まって話し合う会議を「閣議」と言います。閣議は通常、週2回行われ、国の行政について話し合います。

内閣



税金とは？

簡単に言うと、私たちの周りには、私たちが健康で安全に暮らせるようにつくられた、たくさんの『公共サービス・公共施設』があります。これらのサービスや施設をつくるには、たくさんのお金がかかりますので、必要なお金を、みんなで出し合って負担しています。これが『税金』です。

何に使うのか？

- ・公共施設
- ・公共設備

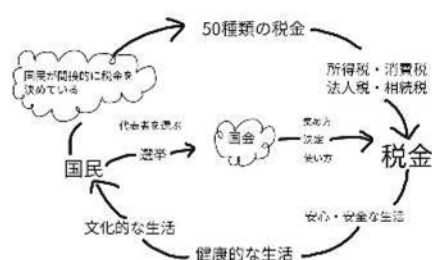
など、いろいろな場所に
使われるよ！

例えば…

- ・信号
- ・消防署

とかいろいろあるよ！

【税金と国民の関わり】



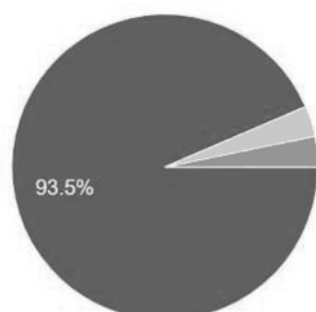
振り返り

アンケート結果

勉強をしてみて、税金は必要だと思いましたか？

31 件の回答

 コピー



- 必要だと思った。
- いらないと思った。
- もっと減らした方がいいと思った。
- もっと増やした方がいいと思った。

回答の理由や感想

私は、税金を増やした方がいいと思います。なぜなら、今生きている人が大変になるけど、税金が多かったら日本の借金が返せるかもしれないし、税金が返せたら未来で楽になる可能性が高いのと、ホームレスで苦しんでいる人が減るかもしれないからです。それに少子高齢化が改善する可能性だってあるし、税金を増やした方が将来のためになることがたくさんあるから私は税金を増やしたほうがいいと考えました。

私は税金は今のままの方がいいと思います。なぜなら、増やしたら生活が苦しくなり、脱税する人が増えてしまうから。逆に、減らすと、日本のお金が足りなくなるから。どっちも悪いことがあるから、今のままの方がいいと思った。

税金は減っても増えてもメリットデメリットがあることがわかったので国の安定を維持できるように年が変わるごとに徐々に少しずつ増やしていくことが大切だと思いました。また、少子高齢化の影響で税金が増えることがあるので、少子高齢化対策のために税金を増やすことも大切なのかなと思いました。

いろいろなことが不便になるから

私は、税金を増やした方がいいと思います。なぜなら、今生きている人が大変になるけど、税金が多かったら日本の借金が返せるかもしれないし、税金が返せたら未来で楽になる可能性が高いのと、ホームレスで苦しんでいる人が減るかもしれないからです。それに少子高齢化が改善する可能性だってあるし、税金を増やした方が将来のためになることがたくさんあるから私は税金を増やしたほうがいいと考えました。

税金がないと救急車を呼ぶだけでお金がかかるから

借金を返せないとまた戦争などが始まってしまうから

税金がないと、もし火事が起きた時に火を消すために使ったお金をその家の持ち主が全部負担しなきゃいけないって、国民が大変になるから。(私たちも含めて)

無いと、今までの生活が不便になるから

税金は、生活からなくなったら大変なことになるから。かといって、増やしても生活が苦しくなるし、減らしても借金が返済できずに困るから。

もし税金がなくなったら、教科書代など家庭の負担が大きくなるから必要だと思う。

私は、税金を増やしたり減らした
りせず、今のままがいいと思
います。なぜなら、もし税金を増
やしたら今の生活が苦しくなりし
て減らしても借金を返せなくなるし
でいいことがないからです。
もし仮にできるのであれば、今
別のことに使っている税金を国債
費に使えば、少しはよくなるの
ではないかと思っております。

A word cloud centered around the Japanese word "税金" (Tax). The words are arranged in various sizes and orientations, representing different aspects of taxation and its impact on society.

Words visible in the cloud include:

- 税金 (Tax)
- 増やす (Increase)
- 減らす (Decrease)
- 必要 (Necessary)
- 負担 (Burden)
- 借金 (Loan)
- 生活 (Life)
- お金 (Money)
- 火事 (Fire)
- 大変 (Difficult)
- しろれない (Not white/clean)
- 多い (Many)
- 大切な (Important)
- 進む (Advance)
- 配る (Distribute)
- 安全な (Safe)
- 少ない (Few/Little)
- 安定な (Stable)
- 楽な (Easy)
- 悪化 (Worsening)
- 進めない (Cannot advance)
- 返せない (Cannot return)
- 苦しい (Painful)
- つらい (Tough/Painful)
- 改善 (Improvement)
- 支える (Support)
- 起こる (Occur)
- 将来 (Future)
- 困る (Trouble)
- よい (Good)
- 私たち (We)
- 危険な (Dangerous)
- 返せる (Can return)
- いけない (No good/Bad)
- 公共施設 (Public facility)
- 持ち主 (Owner)
- ないな (None)
- 社会 (Society)
- 減る (Decrease)
- 不便な (Inconvenient)
- 返済 (Repayment)
- ホームレス (Homeless)
- 対策 (Countermeasure)
- 年々 (Year by year)
- まわす (Rotate/Spread)
- 無い (None)
- 色々な (Various)
- 戦争 (War)

児童の感想から分かったこと

- ・税金の使い道は、公共事業や公務員の給与等、様々だと気付く児童がいた。
- ・税金が無ければ、当たり前を受けているサービスが受けられなくなること
を理解した児童もいた。
- ・自分たちが納税は、未来の人々の暮らしを支えることにつながると理解し
た児童もいた。
- ・増税や、減税のメリット、デメリットに気付いた児童もいた。
- ・少子高齢化と関連付けて、新たな疑問が生じた児童もいた。

1 研究主題

児童が租税の意義や役割を理解するための指導の工夫
～地域資源について調べる活動を通して～

2 主題設定の理由

日常生活において税率の変更など税に関わる報道が行われている現在、税金は私たちにとって欠かせないものとなっている。

本校の児童は第5学年の総合的な学習の時間において、居住地である亘理町の特産物である荒浜のりを調べる活動を通して、社会科「水産業のさかんな地域」についての学びを深めている。児童が租税の意義や役割を理解するためには、上記のように地域教材を活用することで、学習内容を自分事として捉え、意欲的に学習に取り組むことができると考える。

小学校指導要領解説社会編内容（2）イには、「国民は権利を行使する一方で、勤労や納税の義務などを果たす必要があることなどを理解できるようにする」と記されている。内容の取扱い（2）には、「「租税の役割」については、国や県、市によって行われている社会保障（中略）などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする」とし、児童は国及び地方自治体の財政や租税の意義、役割を正しく理解することが必要である。

これらを踏まえ、児童が地域資源をテーマに教科横断的に学び、発表する活動を行うことで租税の意義や役割をより身近に感じながら、理解させることができると考え、本主題を設定した。

3 主題・副題の捉え

（1）租税の意義や役割について

租税の意義や役割とは、国民生活の安定と向上のために租税が役立てられていることである。

（2）地域資源について

児童の身のまわりに存在する有形・無形の資源について表す。

4 研究方法

- （1）児童の租税に関する実態調査を行う。
- （2）事前・事後調査の比較を行い、児童の変容をみる。
- （3）テキストマイニングの結果を比較し、児童の変容をみる。
- （4）調査記録やプレゼンテーションの分析をする。

5 研究計画

令和5年	1 2 月	第1回租税教室実施
令和6年	5 月	先行研究・実践者ヒアリング 租税教育実践報告書，国税庁，国税庁発行副読本 事前調査 租税に関する知識について事前調査をとり，児童の実態を明らかにする。 指導計画 各教科の特質を生かした単元構成を考える。
	6 ～ 1 0 月	授業実践 国語科，社会科，総合的な学習の時間において実施する。 事後調査 事前調査と同様の項目を実施する。 まとめ 児童の発表物や事前・事後調査を比較，分析する。

6 研究の概要

(1) 実態調査 (令和6年度 6年1組11名 5月中旬実施)

1 税金は必要であると思うか。

ある 11人 ない 0人

2 税金にはどのような種類があるか。(複数回答可)

消費税	8名
所得税	4名
住民税	3名
自動車税，ガソリン税，固定資産税	2名
宿泊税，酒税，たばこ税，法人税，印紙税， 特別法人事業税，不動産所得税，国民健康保険税 国際観光旅客税，鉦区税（・狩獲税 ・価格税 ・ 教育税）	1名
無回答	2名

※（）内は実在する税金ではない。

3 税金について知っていることを挙げなさい。(複数回答可)

- ・社会保障
- ・国のためにお金寄付する事，火事などがあつた時税金を使って建物を直す
- ・教育を受けられる ・国や市町村のために払うお金 ・国民の義務
- ・税金を払わないと脱税と言う犯罪になる
- ・税金がないとトイレなど使うのにお金がかかってしまう
- ・税金はたくさん種類がある ・国に預けている ・図書館などの公共施設が建てられる
- ・国会を開くためのお金 ・家を建てていると取られる ・学校の物のために使われる

無回答3人

(2) 指導計画

次	段階		教科(時数)	内容
1	税金について理解する	租税の意義や役割について理解しよう	社会科(1)	第一回租税教室 仙台南税務署
			社会科(1)	小单元「子育て支援の願いを実現する政治」の中で「税金の働き」について学習する。
			総合(1)	第二回租税教室 仙台南税務署
2	地域素材を活用し、調査する	亶理町の税金の使われ方を調べよう	総合(2)	亶理町を題材にテーマを設定し、グループで調べる。
			家庭学習	調べたことを整理する。
			総合(1)	第三回租税教室 亶理町税務課
			家庭学習	租税教室で理解したことを再度整理、調査する。
3	調査したことを、論理的にまとめる。	調べたことを下学年に伝えよう	総合(1)	個人で調べたことをグループで共有、整理・分析を行う。
			国語(2)	プレゼンテーションにまとめる。
			学習発表会	発表する。

(3) 実践の概要

【第1次】「租税の意義や役割について理解しよう」

- ・社会科「税金の働き」で国民の三大義務として納税があること、公共施設の建設・運営費用が税金で賄われていることを学んだ。
- ・第二回租税教室の実施。概要は以下の通りである。
 - ①税金の種類について：税金の種類は多く、現在50種類あること。多くある理由は、特定の人だけが税金の重みを感じることに内容にするため。
 - ②軽減税率について：軽減税率という税制度は、国民の負担を配慮するためであること。
 - ③副読本を使った税金の使い道について：税金が身の回りの様々なものに使われていること。

【第2次】「亶理町の税金の使われ方について調べよう」

- ・第5学年総合的な学習の時間「荒浜のり」の学習を想起させ、学習活動の見通しをもたせる。
- ・ウェビングマップを活用し、課題や問い、調べたいことを可視化させる。
- ・児童はグループ毎に調べたいことや疑問点に基づいたテーマを設定した。
設定されたテーマ：税金の使い道、軽減税率、税金の種類
- ・各テーマについて、児童は亶理町を題材に調査を行った。
調査方法：副読本、国税庁等HP、社会科副読本、亶理町広報誌
- ・授業時間内は、グループで協力して調査できるようにするため、家庭学習で、各自調べた内容を整理した。
- ・児童から「亶理町の税金に詳しい人にインタビューしたい」という希望が出る。
⇒第3回租税教室で質疑応答の時間を設ける。
- ・第3回租税教室の実施。内容は以下の通りである。
 - ①亶理町の税金の内訳について
町内に新しく建設される給食センターなどの具体例の提示
 - ②児童から調査の中で生じた疑問について質疑応答（図1）



図1 第3回租税教室の様子

【第3次】「調べたことを下学年に伝えよう」

- ・調べた内容をプレゼンテーションにまとめる。
以下の表は、各チームの発表原稿の一部抜粋である。

テーマ	(一部抜粋) ※ 波線：税金の役割, 二重下線：税金の必要性
税金の使い道	このように税金で、公共施設は、皆さんに、<u>便利で快適に使用してもらうために公共施設に使われています。</u> 私たちにとって<u>税金は生活を支えてくれる大事なお金</u>だと思います。
軽減税率	税金があると<u>警察や消防士が活動できたりするので、税金は大切</u>だと思います。 (中略) 軽減税率があるおかげで、私たちの生活の<u>負担が減っていて、ゆたかなもの</u>になっています。
税金の種類	税金とは、<u>みんなが払うと、建物を建てられたり、災害があった時に寄付できる、社会を支えるお金</u>のことです。

- ・学級発表会を設ける。互いに学び合わせ、下学年が分かりやすい内容かどうか確認させる。
- ・学習発表会で、下学年に向けて発表し、税金の意義や役割を伝える。

(4) 事後調査 (令和6年度 6年1組 11名 10月中旬実施)

1 税金は必要であると思うか。

ある 11人 ない 0人

2 税金にはどのような種類があるか。(複数回答可)

無回答0名

税の種類	事前調査	事後調査	税の種類	事前調査	事後調査
消費税	8名	8名	事業税	0名	2名
入湯税	0名	5名	滞滞税	0名	1名
固定資産税	2名	5名	自動車重量税	0名	1名
住民税	3名	5名	鉦区税	1名	1名
所得税	4名	4名	地方消費税	0名	1名
法人税	1名	4名	法定外目的税	0名	1名
酒税	1名	4名	国民健康保険税	1名	1名
タバコ税	1名	4名	宅地開発税	0名	1名
自動車税	2名	4名	都市計画税	0名	1名
宿泊税	1名	3名	石油ガス税	0名	1名
相続税	0名	3名	ゴルフ場利用税	0名	1名
贈与税	0名	2名	軽自動車税	0名	1名
ソーダ税	0名	2名	宮城環境税	0名	2名
ポテトチップス税	0名	2名			
月餅税	0名	2名			

3 税金の学習についての感想 (主な感想) ※囲み：税金の役割, 下線：税金の必要性

調べてわかることがたくさんあったり、僕たちの周りには、こんなにも税金に支えられていることがわかりました。ぼくは公共施設についての発表をします。この発表で税金の大切さを色々な方に知ってもらいたいです。

税金について学習してみて、税金はいろんな種類があるけれど私たちの生活に必要なものだし、外国には、ポテトチップス税やソーダ税があるとは知らなかったで、しれたので良かったです。発表をしてみて、税金は大切なんだと相手に伝わるとういなと思いました。

工芸品チームは軽減税率について調べましたが、食べ物ではない新聞が軽減税率に適用されたり、酒類は軽減税率に適用されなかったりなど、たくさん税金がある中、色々細かく決まっています、それだけ消費税などの税金が大切なのだと思いました。一方で、「みりんはアルコールが何%が入っているので軽減税率対象外」のようなものもあったので、少し難しいとも思いました。消費税だけでなく、自動車税や法人税など、他の税金にも細かい決まりがあるのか調べてみたいです。

前までは税金は何に使われているのかが分かりませんでしたが、先生や色々な人から税金について学んで、色々な種類の税金があることや、税金がいろいろな場所で使われていることがわかりました。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・以下は事前調査と事後調査の「税金にはどのような種類があるか。」の比較である。
赤囲みは答える人数が多かったもの、緑囲みは新しく回答があったものである。

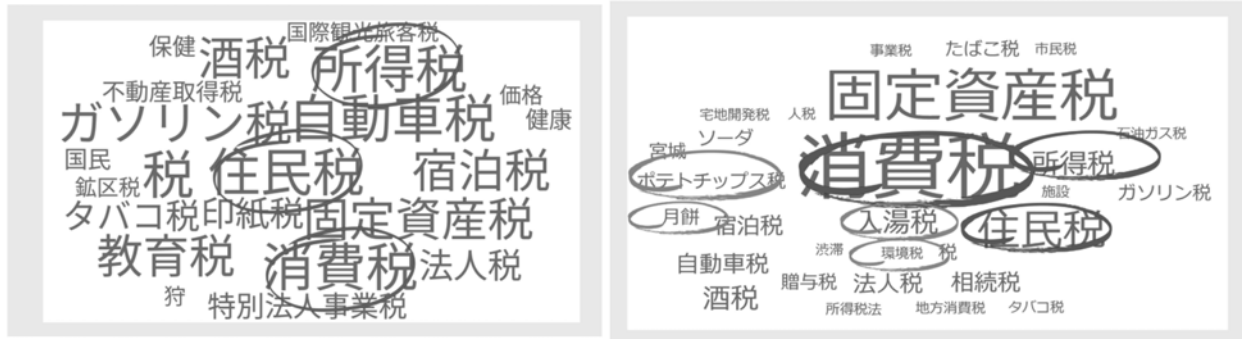


図2 事前調査と事後調査の比較

【事前調査から】

- ・図2や事前調査質問2の表から、消費税について多くの児童が認識していることが分かるが、質問3の下線部は、児童一人が答えたものである。児童の理解の差があることが分かる。
- ・質問3「家を建てていと取られる。」等消極的な考えであることが分かる。

【事後調査から】

- ・テキストマイニングの比較から、様々な税金の種類について、理解したことやそれらが税金の負担を分散させるためであることを理解している。
- ・児童が、租税の役割について触れながら、税金の重要性について理解していることが分かる。

【発表原稿から】

- ・児童が地域資源を調べる活動を通して、自分の生活に密接であることを捉えている。

⇒これらから、始めは税金に対して、消極的な考えであったが、地域資源を通して調べることで、密接感を感じ自分達の生活向上、安定のために重要であることを理解し、肯定的な考えへと変化している。

(2) 課題

- ・税金についての意義、役割を理解し、税金の重要性を感じているが、将来の納税者として、納税する義務感を感じさせることができなかったと考える。

⇒将来を意識した発問等を投げかけ、児童が考える場面を設ける必要があったと考える。

令和6年度 租税教育に関する研究発表要項

山元町立山下第一小学校

教諭 森山 壱成

1 研究主題

税金への関心を高めるための中学年への指導の工夫

～第4学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～

2 主題設定の理由

第4学年の児童は第3学年において、消防や警察についての学習をし、学校と同様にみんなのために働く場所は税金で建てられていることを学んだ。普段の生活を通して、「税金」という言葉は知っているが、どのように集められ、どのように使われているかなど、具体的な税金についての知識はほとんどない。断片的なニュースから必要ないところに使われていることや、何に使われているか分からなかったりするなどのゴシップ情報から税金を払うことに抵抗を感じている児童もいる。

これから多くの公共施設について学ぶ児童がさらに税金について学ぶことで、関連性を思い出し、税金の大切さについて実感できるものと考えた。自ら課題設定し、調べ、話し合い、発表することで税金への関心を高めることができると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

児童が自ら課題設定し、調べたり、話し合ったりすることを通して、税金への関心を高めるための中学年の指導の工夫を探る。

4 研究方法

- (1) 税金に関する意識調査を行う。
- (2) 学習の導入として税金に興味関心をもたせられるよう、外部講師のもと「租税教室」を行う。
- (3) 租税教室や普段の生活、公共施設について学んだことを基に児童自らが疑問に思ったことや関心のあるものから、調べてみたい課題をグループごとに設定させる。
- (4) 課題に沿ってインターネットや本、資料等を使って調べ活動に取り組みせ、税金についての知識を身に付けさせる。
- (5) p4c（探究の対話）を通して税金についての関心・知識・大切さについて考えを深められるようにする。
- (6) 調べたテーマに沿ってスライドにまとめ、3年生に向けた発表をさせる。
- (7) 税金に関する意識調査を行い、変容をみる。

5 研究計画

令和5年	5月26日	事前意識調査
	6月12日	租税教室
令和6年	1～2月	課題設定・調べ活動・まとめ
	3月21日	発表会
	3月22日	事後意識調査

6 研究の概要

(1) 児童の実態：事前意識調査（令和5年5月26日実施 4年1組10名）

質問	回答（複数回答可）
① 税金はどのようにして集められていますか。	分らない（4名） 募金（1名） 消費税（3名） 住民税（1名） 役場で集める（1名）
② 税金は何に使われていますか。	マイナンバーカードの装置（1名） 消防（1名） 地震などの復旧（1名） 教科書（1名） 警察（1名） 家の人の仕事の給料（1名） 世界のため（2名） 病院などの施設（1名） 国や市の活動支援（1名） 分らない（4名）
③ 税金を納めたいですか。	納めたい（0名） どちらかというとなめたい（4名） どちらかというとなめたくない（5名） 納めたくない（0名） 未回答（1名）
④ その理由は何ですか。	<どちらかというとなめたい> 税金がないとだめだから（1名） 日本と世界をより良くするため（1名） 警察と消防にお金を取られてしまうから（1名） 国や市のため（1名） <どちらかというとなめたくない> 何に使われているのか分らないから（1名） 無駄になるから（2名） お金がなくなるから（1名） 未回答（1名）
⑤ 税金はどのように使うとよいと思いますか。	食品（1名） 電気（1名） 市や町の復興（2名） 病気の人（1名） 国や国民のため（5名）

【考察】

①の税金の集め方については、半数の児童が分らないこと、知っていても部分的な言葉を回答しており、集め方（納税方法）については、ほぼ分らないと言える。

②の税金の使い道として、地震などの災害の復旧や、教科書の配布、警察や消防の施設の設置や運営などを挙げている児童もいる一方、会社の給料も税金から出されていると考えている児童もいた。

③・④の納税については、「どちらかというとなめたい」は4名、「どちらかというとなめたくない」は5名が回答した。「納めたい」「どちらかというとなめたい」の理由として、国や市をよりよくしたい、税金は必要という意識があるためではないかと考えられる。また、「どちらかというとなめたくない」「納めたくない」と回答した理由としては、何に使われているのかを具体的に理解していないことや、税金を払うことを無駄に感じたり、自分のお金がなくなるという感覚になったりしているからではないかと考えられる。

⑤では、税金を国や国民の全員のために使って欲しいという思いをもっている児童が半数以上いることが分かった。

(2) 指導計画

次	段階	学習内容	時数
	事前意識調査	・授業前の税金について知っていることを書く。	
1	税金について知ろう	「税金について学ぼう」	1
2	税金について調べよう	① 課題設定を行う ・租税教室や普段の生活、公共施設の学習について振り返る。 ・税金について疑問に思ったことや、関心のあるものについて、グループ毎に課題を設定する。	2
		② 課題について調べ活動に取り組む ・設定した課題についてインターネット等を用いてグループで調べる。	3
		③ 税金への関心をより高める ・p 4 c（探究の対話）を活用して、税金についての関心・知識・大切さについて考えを深める。	1
		④ まとめ ・調べたことを課題に沿ってスライドにまとめる。	2
3	調べた事を伝えよう	・3年生に向けて、調べたことを発表する。	1
	事後意識調査	・授業後の税金について、知っていることを書く。	

(3) 実践の概要

【第1次】「税金について知ろう」（6月12日）（1時間）

仙台南間税会の鈴木隆先生に來校していただき、スライドで税金の種類や税金は必要かという問いが出され、児童は生活の中に税金がどう関わるかを考えた。DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」では、税金がなくなったら世の中がどうなるかについて知ることができた。そして、身の回りにある多くの物にも税金が使われていることを学ぶことで、税金への関心を高めると共に、その必要性を考えるきっかけとなった。

《租税教室の様子》



＜税金の種類について＞



＜1億円が税金＞

【第2次】「税金について調べよう」（8時間）

① 課題設定を行う

租税教室や普段の生活、公共施設について振り返ることで、税金について知っていることを発表させたり、租税教室のことを想起させたりし、疑問に思ったこと、もっと詳しく知りたいことを発表させ、グループ毎に課題を設定した。

Aグループ課題	くらしをよくするためにどんな種類の税金があるのか。
Bグループ課題	くらしをよくするためにどのようなことをしているのだろうか。また、わたしたちにできることはあるのだろうか。
Cグループ課題	国はどのように税金をどのように使っているのか。

② 課題について調べ活動に取り組む

課題に沿って調べ学習を行った。租税教室で使用した資料やタブレット端末を活用しインターネットで調べた。



<租税教室の資料>



<グループでの話し合い>

③ 税金への関心をより高める

p 4 c（探究の対話）の手法を用いて調べ学習で知ったことや疑問に思ったこと、大切にしたいこと等について話し合った。「税金はみんなのため」や「よりよい生活を送れるようにするため」だけではなく、具体的に学校の用具や、補助金など身近にあるものに税金が使われていることに注目させて話し合わせた。「税金があることでよりよい生活を送ること」と具体的に考えたり、税金についての考え方をより深くしたりすることができた。



< p 4 c を用いた話し合い >



<どんな意見でも受け入れる>

④ まとめ

タブレット端末を使ってスライドにまとめた。3年生に税金について分かりやすく伝えるためにクイズを入れたり、挿絵を入れたりするなど工夫をしてスライドを作った。3年生に伝えるという目的意識をもたせ、より明確で分かりやすい言葉にして伝えようとする中で、より身近な税金について考えることができるようになった。

【第3次】調べた事を伝えよう（1時間）

調べたことを発表した。他グループの発表を聞く中で、自分のグループで調べたテーマ以外の税金の役割について考える機会となり、より関心が高まった。

《発表会の様子》



＜税金の使われ方についての発表＞



＜税金の種類についての発表＞

（4）発表会後の4年生の感想

税金は福祉にも関係していることがわかりました。

税金は福祉にも関係していることがわかりました。

税金が安心・安全のために使ったり、豊かな社会にするために使ったりしていることがわかりました。

生活をゆたかにするために税金を納めていることがわかりました。

(5) 事後意識調査 (令和6年3月22日実施 4年1組10名)

質問	回答 (複数回答可)
① 税金はどのようにして集められていますか。	お店などいろいろなところ集められている (2名) 住民から集められている (1名) 国へ集められている (1名) 所得税 (1名) 消費税 (3名) 固定資産税 (2名) たばこ税 (4名) 酒税 (4名) 入湯税 (1名) 宿泊税 (1名) 住民税 (1名) 自動車税 (1名) 募金 (1名)
② 税金は何に使われていますか。	国や県を豊かにするために使われている (7名) 子育て支援 (1名) 病院 (2名) 公立学校 (3名) 災害支援 (1名)
③ 税金を納めたいですか。	納めたい (0→6名) どちらかというとなめたい (4→3名) どちらかというとなめたくない (5→1名) 納めたくない (0→0名)
④ その理由は何ですか。	<納めたい・どちらかというとなめたい> 納めないと学校や公園を作ることができなくなってしまうから (1名) 国を豊かにしたいから (5名) 困っている人のために使って欲しいから (1名) 国民のくらしをよくするため (3名) <どちらかというとなめたくない> 国を豊かにすることは分かったが、大人だけ納めても良いと思う (1名)
⑤ 税金はどのように使うとよいと思いますか。	社会をよりよくするため (1名) 全ての人が不自由な思いをしないくらしを送るため (5名) 国を豊かにするため (5名) 道路 (1名)

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・意識調査より税金の集め方について、かなり詳しく理解できていることが①の回答より分かった。②の回答からは、税金の使われ方について、「国や県を豊かにするために使われている」という考えが事前意識調査より非常に多くなった。③の納税への意識についての回答からは、ほぼ全員が納めることに意識が向いていたことが分かった。学習により税金への意識が高くなっていると考えられる。
- ・児童が自ら税金についての課題を設定し、調べたことをまとめ、下級生へ発表することで、税金への理解を高めることができたと考える。
- ・p 4 c を活用し、税金についての対話を行ったことで、児童が税金について自分の言葉で根拠をもって伝え合った。税金についての考えをより深めることができた。

(2) 課題

- ・普段の生活で税金を意識する機会が少ないため、生活経験を生かしての指導では関心を高めることができなかった。
- ・家庭と連携して調べ学習に取り組ませるなど、税金について考える場を増やすことでもっと多くの気づきを得ることができたのではないかと考える。

租税教育実践発表一覧（昭和62年度～平成3年度）

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
昭和62	名取市立増田小学校	伊 藤 清 子	国民の生活の安定と向上を図るために、国民の三大義務のひとつである納税の義務を深く認識させる
	岩沼市立岩沼南小学校	千 葉 宗 久	租税に対する関心を高めるための指導のあり方についての一考察
	亶理町立逢隈小学校	堀 川 達 也	基本的人権の尊重が民主政治の根本であり、納税の義務はこれらの権利の見返であることを理解させる
	山元町立坂元中学校	佐 藤 光 雄	租税の役割と納税の義務の意味についての理解を深めさせる
	秋保町立秋保小学校	榊 井 裕	国の事業活動を通して、税の必要性や仕組みを理解させる
昭和63	名取市立関上小学校	小 暮 出	社会科教育の中で、租税の重要性を指導し、公共心・協調心に結び付け、これらを実践できる人間性を目標とした指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	鈴 木 啓二郎	金融と財政の働きの中で、租税と国民生活の関わりについての指導から税の意識の向上を図る
	亶理町立吉田小学校	今 野 喜代子	福祉関係等身近な事例を上げて税の重要性を指導し、最後に税の作文を通じて自覚をさせる
	山元町立山下中学校	菅 野 敏 郎	税に関するもの三点を上げさせ、これについて公民教育で考察することによる租税教育の実践
平成元	名取市立増田中学校	小 野 政 稔	租税の働きやしくみを理解させ、納税の義務を自覚させる
	岩沼市立岩沼西小学校	菊 地 真勇美	私たちの生活と政治の中から、租税について理解させる
	亶理町立吉田中学校	菊 地 嘉 昭	税に関する作品の応募から、財政と国民生活について指導
	山元町立坂元小学校	佐 藤 広 実	租税の簡単なしくみから、租税への関心を高めさせる指導
平成2	名取市立増田西小学校	鎌 田 彰 郎	産業廃棄物処理に関する学習の中で、税金の働きについてふれ、税の重要性を認識させる
	岩沼市立岩沼中学校	樋 口 英 明	財政を支える財源である租税の異議や役割を、経済の実態と動向にからませながら、税の重要性を理解させる
	亶理町立高屋小学校	太 田 久仁男	税金によって作られた公共物や学校施設を大切にする態度を育てる指導の工夫
	山元町立山下中学校	江 戸 寿	税金を正しく理解させるため、視覚教材を利用しながら見せる教育の実践
平成3	名取市立名取第二中学校	清 野 ひさ子	国民生活の中で、租税の働きを正しく理解させるための指導
	岩沼市立岩沼小学校	山 田 健 一	一人ひとりを大切にする政治の指導の中で、権利と税との関わりを考えさせる指導の実践
	亶理町立亶理中学校	本 間 和 哉	税に対し、生徒が主体的な活動により、興味・関心を持たせる指導の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐々木 恭 也 小 関 尚 子	一人ひとりが健康で幸せな生活を送るために、税金は、どのように使われているかを理解させる

租税教育実践発表一覧(平成4年度～平成8年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成 4	名取市立不二が丘小学校	丸 子 智 子	快適で豊かな生活を送るために税金はどのように集められ、また、どう使われるのか、自ら調べさせ理解させる指導
	岩沼市立岩沼北中学校	鈴 木 尚	租税の働きや仕組みを把握させ、正しい租税制度の在り方を理解させる指導
	亶理町立亶理小学校	木 村 和 正	税金が一人ひとりの生活に役立っていることを理解させる指導の工夫
	山元町立山下小学校	岩 佐 美保子 佐 藤 真 一	将来の自分や国を考えるために、税についての知識を深め、税の社会的意義を考えるとともに、興味・関心を持たせるような指導の工夫
平成 5	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	国民生活に大きな影響力をもつ、財政を支えている租税の意義を理解させ、また、税金は共同社会を維持するための会費であることに気付かせる指導の工夫
	岩沼市立玉浦小学校	渡 邊 清 孝	問題意識を持ち、自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する興味・関心を高めさせる指導
	亶理町立吉田中学校	永 浦 晴 久	金融と財政の働きを租税教育の中心場面にとらえ、消費者としての私たちと関連させ、税をより身近なものとさせる指導の工夫
	山元町立中浜小学校	近 藤 英 人	児童一人ひとりに生活の中で、自分が税に対しどう関わっているか、どう関わればよいのかと考えさせる指導の工夫
平成 6	名取市立館腰小学校	高 橋 壽 子	問題意識をもって、自ら調べ解決する学習により、児童の税に対する関心を高めさせる税の意義と役割を理解させる指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	横 山 純	財政収入は租税を中心に成り立っていることを理解させ、納税の義務を負う国民のあり方について考えさせる指導
	亶理町立長瀬小学校	大 沼 仁	税金の必要性とその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫
	山元町立山下第一小学校	大 沼 毅	児童自ら税に対する課題意識を持たせ、調査し解決していく活動から、税の意義を理解させ、公共社会での責任と義務を培わせる指導の工夫
平成 7	名取市立愛島小学校	石 川 峰 生	子供の租税に対する関心を高めさせる指導の工夫
	岩沼市立岩沼小学校	大 沼 毅	税制度の理解を通して、公共社会での助け合いに対して、興味・関心を高めさせる指導の工夫
	亶理町立荒浜中学校	田 原 満	租税の意義と目的を理解させる指導を通して、税への関心を高める指導の一考察
	山元町立坂元小学校	菅 原 裕 子	税金の仕組みとその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する関心・理解を高めさせる指導の工夫
平成 8	名取市立館腰小学校	芳 賀 佳 恵	課題意識を持ち自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する関心を高めるための指導の在り方
	岩沼市立岩沼南小学校	菊 地 真勇美	税金は人々のくらしとどのように結びついているのかについて、身近な事例から気づかせ、納税の大切さを理解させる指導の工夫
	亶理町立荒浜小学校	佐々木 洋 美	計画・調査・発表を取り入れた学習活動を通して、児童の税に対する理解を深める指導の一考察
	山元町立坂元中学校	成 毛 毅	消費税と財政政策との関係をとらえて、税への関心を高める社会科公民的分野指導の一考察

租税教育実践発表一覧(平成9年度～平成13年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成 9	名取市立増田小学校	高 橋 千 佳	税に対する意識・関心を高めるための指導 ～6年「みんなの願いを実現する政治」の指導を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	長 澤 裕 司	税への関心を高め、税を見る目を養う指導の一考察 ～税の公平性を考える討論活動を通して～
	亶理町立逢隈中学校	菊 地 幸 子	社会科学習における租税教育の在り方と指導方法の工夫
	山元町立山下中学校	佐 藤 泉	税に対する理解を深める指導の一考察 ～財政の学習を通して～
平成10	名取市立不二が丘小学校	杉 田 由 英	児童の税に対する関心を高めるための指導 ～6年「みんなの願いを実現する政治」の指導を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	及 川 浩 芳	社会科における租税への認識を高める指導の工夫 ～各分野において、身近な資料を活用し、税の必要性を理解させる指導を通して～
	亶理町立逢隈小学校	鈴 木 健	自分なりの課題を持ち、自分なりの方法で調査や課題解決を行い、自分なりの方法で表現していく子供の育成 ～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 真 一	小学5年生の税に対する興味・関心を高めさせる指導計画の工夫
平成11	名取市立下増田小学校	高 橋 宏 明	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～課題意識を持って自ら調べ表現する活動を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	水 沼 久美子	児童の税に対する関心を高めるための指導と学習計画の工夫
	亶理町立亶理中学校	星 和 敏	租税への関心を高めるための指導の工夫
	山元町立山下小学校	阿 部 広 力	小学校4年生の社会科学習における租税教育の効果的取り扱いについて
平成12	名取市立関上小学校	赤 沼 隆 史	児童の税に対する関心を高めさせる指導の工夫 ～自ら課題意識をもって調べる活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	内 海 郁 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導法の工夫 ～学び方を学ぶ学習を通して～
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 隆	問題意識を持ち自ら学ぶ児童をめざして ～6年社会科の税金学習を通じた実践と考察～
	山元町立中浜小学校	阿 部 優 子	税に関することがらを主体的に学習させるための工夫
平成13	名取市立高館小学校	佐 藤 真理子	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫 ～住みよい「〇〇王国」作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼小学校	高 橋 悟	児童の税に対する興味・関心を高め、主体的に学習できるための指導の工夫
	亶理町立高屋小学校	大 槻 裕 史	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～課題意識を持って自ら解決する活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	佐 藤 尚 利	学校のプールが新しくなったよ！ ～税金博士を目指して～

租税教育実践発表一覧(平成14年度～平成18年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成14	名取市立増田西小学校	鈴 木 和 彦	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～租税に関するニュース番組作りの活動を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	大 堀 真 澄	税の関心を高め、理解を深める指導の一考察 ～租税に関する討論活動を通して～
	亘理町立亘理小学校	大 森 実	社会科との関連をはかった租税教育の試み ～税に関する興味・関心を育む単元の工夫を通して～
	山元町立坂元小学校	高 倉 成 行	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の活動を通して～
平成15	名取市立ゆりが丘小学校	松 浦 和 浩	学年ごとの児童の実態に応じた効果的な租税教室のあり方
	岩沼市立玉浦小学校	柴 田 新 二	税に関する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む指導の工夫 ～税についての調べ学習、未来の玉浦を考える活動、道徳を通して～
	亘理町立吉田中学校	小 鴨 幸 生	租税に関する興味・関心を高める指導法の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 孝 志	税の学習を取り入れた総合的な学習の時間の指導の一考察 ～「未来の山元町を考えよう」の活動を通して～
平成16	名取市立増田中学校	渡 邊 義 行	公民の学習における租税への関心を高める指導の工夫
	岩沼市立岩沼北中学校	瀬成田 実	税への関心を高め、思考を深める指導法の工夫 ～適切な資料展示や討論活動をとおして～
	亘理町立長瀨小学校	西 澤 勝 雄	社会科学習及び総合的な学習における租税教育の効果的な指導の一考察 ～4年社会科「住みよいくらしをささえる」、5年総合的な学習「わたしたちの亘理町を考えよう」の活動を通して～
	山元町立山下小学校	平 間 正 信	自分らしさを発信する子ども ～学んだことを発信する学習を通して(小学5年生の実践)～
平成17	名取市立関上中学校	大 宮 潤	租税への関心を高める指導法の工夫 ～3年間を見通した租税教育～
	岩沼市立岩沼西小学校	建 入 文 夫	租税について考え、正しく理解させるための指導法の工夫 ～租税に関する社会科の学習を通して～
	亘理町立荒浜中学校	佐 藤 秀 樹	公民としての資質を育てる租税学習の工夫 ～地域住民へのアンケート活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	稲 垣 祐 子	税を通して山元町の良さを知り、発信する子どもの育成 ～総合的な学習の時間の活動を通して～
平成18	名取市立館腰小学校	相 原 直 人	税に関心を持ち税金の大切さを考えることのできる児童の育成 ～ぼくらの税金ホームページ作りを通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	森 本 直 樹 菅 正 弘	公民としての資質の基礎を養う租税学習の工夫 ～3学年公民での継続した学習を通して～
	亘理町立荒浜小学校	塚 口 誠	進んで学習に取り組む児童の育成 ～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下中学校	仙 石 直 樹	租税について正しく理解し、主体的に考えることができる生徒の育成 ～3年公民分野における「タックスレポート」づくりを取り入れた学習活動の工夫を通して～

租税教育実践発表一覧(平成19年度～平成25年度)

※ 平成23、24年度は震災により中止

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成19	名取市立那智が丘小学校	大 友 幹 雄	税に関心をもち、税の社会的意義を考えることのできる児童の育成 ～税に関する新聞作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	横 山 勉	児童が興味・関心をもつための指導の工夫 ～小学校4年生からの「税に関する学習」を通して～
	亶理町立逢隈中学校	長 田 康 宏	税に対する興味・関心を高める指導法の工夫 ～身近な地域素材の活用を通して～
	山元町立中浜小学校	日 下 泰 彰 西 澤 憲 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「中浜の松ぼっくりから」の実践を通して～
平成20	名取市立第一中学校	小 鴨 幸 生	租税への関心を高める指導法の工夫 ～身近な資料や租税に関する討論活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	長 澤 裕 司	租税への関心を高め、納税者としての自覚を培う指導の一考察 ～財政上の課題を考えさせる場面の工夫をとおして～
	亶理町立逢隈小学校	高 倉 成 行	税金の役割を理解させるための指導の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立坂元中学校	堀 内 恵理子	税に関心を持ち、主体的に社会とかかわろうとする姿勢の育成 ～3年公民的分野における租税学習を通して～
平成21	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	納税者としての意識を高めるための指導法 ～租税教室や様々な資料で学んだことを基にした消費税に関するディベートを通して～
	岩沼市立岩沼小学校	佐久間 秀 和	租税への関心を高める指導の一試み ～小学校6学年社会科「日本の歴史」での税の学習と「租税教室」の実践を通して～
	亶理町立亶理中学校	浦 邊 盛 勝	税に対する興味・関心を高め、発展させる指導法の工夫 ～生徒自身の身近な素材の活用を通して～
	山元町立坂元小学校	清 野 政 子	児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「税金ってなに」の活動を通して～
平成22	名取市立相互台小学校	大 沼 史 柄	租税への関心を高めるための指導の工夫 ～公共施設から税金を考える～
	岩沼市立玉浦中学校	山 田 洋 子	税の必要性についての意識を高めるための指導法の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 英 明	身近なことから税金の意義や役割を理解させる指導法の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	針 生 武 宏	身近な生活での税に関心をもち、税の大切さを考えることのできる児童の育成 ～総合的な学習の時間「山元町の未来を考える」の学習を通して～
平成25	名取市立増田小学校	佐 藤 真 一	税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫 ～自ら調べ、主体的に税を考える学習を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	管 野 千 里	税金の役割と必要性を理解できる児童を育成するための指導の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	亶理町立高屋小学校	小 松 晃	税金の大切さを考えることのできる児童の育成 ～総合的な学習の時間「人権福祉」学習-だれもが幸せに生きる町づくりを通して～
	山元町立山下中学校	太 田 侑 吾	租税への興味・関心を深化させる指導の工夫 ～山元町の復興に関する取り組みを通して～

租税教育実践発表一覧(平成26年度～平成30年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成26	名取市立不二が丘小学校	清 野 秀 和	租税への関心を高めるための指導の工夫 ～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	阿 部 幸 子	租税への関心を高め意義や役割を理解させる指導法の工夫 ～租税教室や身近な資料の活用を通して～
	亶理町立亶理小学校	酒 井 久美子	町民の願いを実現するために税金が果たす役割を理解させる指導の工夫 ～「総合的な学習の時間」と6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習との関わりを通して～
	山元町立坂元中学校	渡 邊 淳 一	将来の納税者としての意識を育む税金学習
平成27	名取市立関上中学校	荒 川 美 貴	積極的納税者を育むための指導の工夫 ～税の使い道についての学習や租税教室の活用を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	丸 谷 由 浩	未来の望ましい納税者を育てる指導の実践 ～税金に対する正しい知識を身に付け、正しく納めようとする態度を養う指導を通して～
	亶理町立吉田中学校	妹 尾 文 男	納税者意識を高める指導の工夫 ～生徒の疑問を大切に授業づくりと税について考える機会を増やす実践から～
	山元町立坂元小学校	佐 竹 聡 子	税金の役割を理解し、税金の必要性を感じられる児童の育成 ～「坂元の復興と税金とのかかわり」を考える学習を通して～
平成28	名取市立下増田小学校	手 塚 英 海	税に対する知識を深め、健全な納税者を育てる指導の実践 ～主体的に課題を設定し、探求する学習を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	武 田 裕 光	地方自治の学習を通して租税の意義と役割を理解させる指導の工夫
	亶理町立長瀬小学校	武 田 清 美	税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成 ～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～
	山元町立山下第二小学校	渡 部 史 郎	未来の納税者を育てる指導の一試み ～児童の「税」への興味・関心を生かした調べ学習を通して～
平成29	名取市立関上小学校	菅 原 さとみ	第6学年社会科学習として行う租税教育のあり方一考察
	岩沼市立岩沼小学校	三 澤 恵	税の意義や役割を理解し、政治参加に対する意欲を高める指導の工夫 ～税金の使い道について考えさせる活動を通して～
	亶理町立荒浜中学校	小 嶋 幸 生	租税への関心を高めるための指導法の工夫 ～学び合いを取り入れた指導を通して～
	山元町立山下小学校	森 大 地	税に対する興味・関心を高め、税への理解を深める指導の工夫 ～主体的に課題を設定し、自ら調べる活動を通して～
平成30	名取市立第一中学校	榊 田 修	租税教室や資料を用いた指導の工夫
	岩沼市立玉浦中学校	川 又 大 輝	歴史的分野における租税教育の可能性 ～近代革命期と現在の税制度の比較を通して～
	亶理町立荒浜小学校	高 橋 洋 彰	税への興味・関心を高め、正しい知識と納税意識をもった子どもの育成 ～児童自らが課題をもち、調べる活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	名 取 富 江	児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の学習を通して～

租税教育実践発表一覧(令和元年度～令和6年度)

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
令和元	名取市立高館小学校	大 槻 裕 史	税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割への理解を深める指導の工夫 ～社会科の学習として行う租税教育の実践を通して～
	岩沼市立玉浦小学校	村 田 志 乃	児童が税を身近に感じ、税に関する興味・関心を持つための工夫 ～課題設定の工夫と学び合いの学習を通して～
	亶理町立逢隈中学校	都 澤 智 洋	税を通して、支えられている社会を実感させるための授業実践の工夫 ～震災前、震災直後、現在の亶理町の収入を比較させることを通して～ ～亶理町立逢隈中学校の校内研究実践を通して～
	山元町立山下中学校	風 間 啓 太	租税を正しく理解し、主体的に考えることができる生徒の育成 ～租税教室体験を通して～
令和3	名取市立増田西小学校	齋 藤 幸 恵	将来積極的に社会に参画していく納税者を育む指導の工夫 ～段階的に継続して育むカリキュラムを通して～
	岩沼市立岩沼北中学校	古 川 明 子	租税の意義や役割を正しく理解し、納税者として社会や国の在り方などを主体的に考えることができる生徒の育成 ～身近な地域の調べ学習を通して～
	亶理町立逢隈小学校	鈴 木 康 史	児童が税に関する興味・関心を高めるための指導の工夫 ～児童自らが課題を設定し、調べる活動を通して～
	山元町立坂元小学校	鈴 木 晋 也	租税についての関心を高め、税金の必要性を実感する児童の育成 ～税に関する身近な問いについて調べ、解決する学習を通して～
令和4	名取市立ゆりが丘小学校	小 林 敏 之	税を身近なものとして捉え、知識を深めるための指導の工夫 ～I C T機器の効果的な活用を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	先 崎 晴 香	児童が納税や政治に興味・関心をもち、考えを深める指導の工夫 ～身近な地域(岩沼市)を題材とした学習活動の工夫～
	亶理町立亶理中学校	児 玉 彩 夏	租税の意義や現状を正しく理解し、納税者として税制の在り方や関わり方を主体的に考えることができる生徒の育成 ～国税庁や財務省の資料を活用し、自ら考える学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	高 橋 丈 喜	税に関する関心を高め、「まちづくり」にいかそうとする児童の育成 ～「未来の山元町」について調べ、意見交流する学習を通して～
令和5	名取市立館腰小学校	川 村 理 恵	租税への関心を高め、意義や役割への理解を深める指導の工夫 ～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	高 橋 尚 子	既習事項を活かし、税の学習に主体的に取り組む生徒の育成 ～古代と現代の税制度の比較を通して～
	亶理町立吉田小学校	川 田 真	税への興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を実感するための指導の工夫 ～自分でテーマを設定し、調べ、伝え合う活動を通して～
	山元町立山下小学校	佐 藤 圭 祐	租税についての関心を高め、税金を身近に感じる児童の育成 ～学校生活と税との関連を調べ、解決する学習を通して～
令和6	名取市立愛島小学校	三 品 綾 子	租税についての関心を高め、税金の必要性を理解することのできる児童の育成 ～税に関する単元の、身近な事例と関連させた学習を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	石 井 歩	児童が税について主体的に学ぶ学習を目指して ～第6学年「わたしたちの生活と政治」の学習を通して～
	亶理町立高屋小学校	石 川 光 華	児童が租税の意義や役割を理解するための指導の工夫 ～地域資源について調べる活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	森 山 壱 成	税金への関心を高めるための中学年への指導の工夫 ～第4学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～

令和6年度 仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿

役 職	構 成 機 関 名 等	氏 名
会 長	亶理町教育委員会	教 育 長 奥 野 光 正
副 会 長	公益社団法人仙台南法人会	会 長 佐 藤 和 也
	仙 台 南 税 務 署	副 署 長 山 内 正 和
常 任 幹 事	仙 台 南 税 務 署	総 務 課 長 小 野 繁
幹 事	宮城県仙台教育事務所	所 長 星 和 彦
	亶理町教育委員会	教育総務課長 太 田 貴 史
	岩沼市教育委員会	教育総務課長 一 丸 孝 博
	名 取 市 校 長 会	会 長 (愛島小学校長) 黒 川 長 寛
	岩 沼 市 校 長 会	会 長 (岩沼南小学校長) 柴 田 新 二
	亶理町校長会	会 長 (亶理小学校長) 大 沼 毅
	山 元 町 校 長 会	会 長 (山下小学校長) 矢 口 晃
	仙台南税務署管内 青色申告会連合会	会 長 猪 股 弘 志
	仙 台 南 間 税 会	会 長 遠 藤 利 昭
	宮城県仙台南県税事務所	所 長 寺 嶋 智
	亶 理 町	税 務 課 長 佐 藤 文 行
会 計 監 事	東北税理士会仙台南支部	支 部 長 原 修一郎
	仙台南小売酒販組合	理 事 長 藤 原 仁 昭

顧 問	名 取 市	市 長 山 田 司 郎
	岩 沼 市	市 長 佐 藤 淳 一
	亶 理 町	町 長 山 田 周 伸
	山 元 町	町 長 橋 元 伸 一
	仙 台 南 税 務 署	署 長 藤 原 守

令和7年3月発行

発行者 仙台南地区租税教育推進協議会

事務局：仙台市太白区柳生2丁目28番2号（仙台南税務署内）

（022）306－8001 内線305

※ 本冊子は、国税庁ホームページでもご覧いただけます。
掲載ページはこちらです。

(https://www.nta.go.jp/about/organization/sendai/education/jirei_sendaiminami.htm)



